

議 事 概 要

◎ 委員会の所管事務に係る調査について

- ・ 5月30日の代表者会議において、改めて協議することとしていた委員会の所管事務に係る調査について、各会派の意向聴取。

大阪維新：意向あり。

＜調査項目＞①府立高校改革のグランドデザイン

②府立高校の今後のあり方

＜調査方法等＞通信やオンラインを活用している私立高校に先行事例等をヒアリング。

公明党：意向なし。調査の実施については項目内容により検討したい。

自民党：意向あり。

＜調査項目＞①府立高校の再編整備。

＜調査方法等＞公立高校の再編整備に関する国の今後の動きについてヒアリング。

大阪の和：意向あり。

＜調査項目＞①府立高校の今後のあり方

＜調査方法等＞複数学科を起用している他府県の高校に先行事例等をヒアリング。

府立高校改革のアクションプランの策定にあわせて、先行事例を取りまとめた調査書を9月定例会までに教育庁に提出するの一つ。

松浪委員：意向あり。

＜調査項目＞①維新及び大阪の和の案に加えて、教育現場における生成AIの活用

＜調査方法等＞教育現場において活用されている生成AIの知見を調査。

- ・ 調査項目及び調査方法について決定しなかったため、本日の協議内容を踏まえ、正副委員長の間で調整を行い、追って連絡する。
- ・ 次回の代表者会議の日程については、後ほど事務局にて日程調整を行う。

- ・ 調査のスケジュール感について発言あり。

副委員長：9月定例会まではアクションプラン、それ以降は条例の改正など府立高校の今後のあり方について、前半と後半に分けて調査を実施してはどうか。

大阪の和：参議院選挙を控えているため、9月定例会までにアクションプランに関する調査をするとすると、2回程度しか調査を実施できない。タイトスケジュールを踏まえた上で何ができるのかを検討していくべき。

委員長：スケジュール感を念頭に置いた上で、調査項目に沿った内容を一旦聴取し、改めて時機を見て再度実施する方が良いのではないかと考えている。